

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 23 年度 第 1 回 第 4 次上越市行政改革大綱等策定委員会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 第 4 次上越市行政改革大綱（案）の答申について（公開）
- (2) 第 4 次上越市行政改革推進計画の策定について（公開）

## 3 開催日時

平成 23 年 5 月 17 日（火）午前 10 時から 12 時まで

## 4 開催場所

上越市役所 4 階 401 会議室

## 5 傍聴人の数

2 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：東條邦俊、松根登道、原忠、木澤勝、青木ユキ子、木原満男、小出優子、三浦元二
- ・事務局：市村総務管理部長、永野行政管理課長、市川副課長、星野係長、太田主事

## 8 発言の内容

### (1) 第 4 次上越市行政改革大綱（案）の答申について

#### （事務局）

- ・永野課長が資料 1-1、1-2 に基づき説明

#### （東條委員長）

- ・事務局の説明について意見や質問があれば、発言いただきたい。

#### （木原委員）

- ・5 次総には行革に関連する目標も含まれている。また、3 次大綱では目標を記載し、それに基づき推進計画を策定していて分かりやすい。目標値についてはどのような考え方で整理しているのか。

#### （永野課長）

- ・3 次大綱では目標を記載しているが、大綱は基本的な方向を定めるものであり、その大綱を受けて推進計画を作るものと考えている。個別の計画を作り、それらを進捗管理することで大綱の考えを受け継ぎたい。2 次大綱では目標

を記載しておらず、4次大綱だけが特別なやり方ではない。

(木原委員)

- ・2次大綱で目標を記載しなかったために力不足が生じたという反省をもとに、3次大綱では目標を記載するように変えたのに、今の説明では理論が違うような気がする。PDCAサイクルをまわすということは、そういうことなのではないか。
- ・また、大綱は5次総を受けて作るものであり、行革が勝手な枠組みを作っているわけではないはずなのに、数字がないために分かりにくい。

(永野課長)

- ・3次大綱と4次大綱の違いは「新しい公共」であり、市民のみなさんを巻き込んだ形で記載している。3次大綱では財政課題に重点を置き、4次大綱では、引き続き、財政課題に取り組むとともに、5次総を受けて「新しい公共」という考えを入れている。
- ・大綱に目標を記載していないことについては、本来であれば、推進計画とセットで策定するため、違和感なく受け入れてもらえるものと考えが、「事務事業の総ざらい」や「中期財政見通し」の結果を受けて、別途、検討する必要があったために一緒に示すことができなかった。大綱に目標を入れなければならないというわけではなく、推進計画で目標を定めたとしても行革の効果に変わりはない。今回は特殊要因ということで理解してほしい。

(東條委員長)

- ・推進計画で明確にしていくということで理解していただきたい。

(三浦委員)

- ・パブコメ案の成熟度については、十分に議論されていないと思っている。策定委員会から改めて意見をもらうということについても、多くの意見を聞くという意味では間違っていないと思うが、外部からは、どのような議論をしてきたのかと見られてしまう。今後、進め方に配慮してほしい。
- ・また、「新しい公共」については、最後の会議で事務局から復活の提案があったが、説明を求めても明確な回答は得られなかった。言わんとすることは分かってきたような気がするが、これまでの取組を評価し、「協働」と「新しい公共」は何が違うのか、それが4次大綱とどのように関係するのかを丁寧に説明していれば、ここまで大きな議論にはならなかった。したがって、「はじめに」で説明することで、ある程度の市民の理解は得られるのではないかと丁寧な記述や説明はあってしかるべき。
- ・目標については、今回は特殊要因のため推進計画に記載すると言っているが、提示する方法はあったのではないかと。目標が見えない中では、市民も判断するのは難しいと思う。パブコメの考え方でも「推進計画で対応」という記述があり、やはり大綱と推進計画は一緒に出さないと理解が得られないと思う。
- ・また、市の考え方の中で、「助長」や「後押し」という言葉を修正するとしているが、大綱の中でまだ「後押し」などを使っているところがあるので、修正してほしい。
- ・前回会議での意見への回答については、市の考え方ということで受け止めたがい、81の3次大綱の評価については、継続性があるものであり、評価す

ることで新しい視点も出てくるはずなので、もう少し丁寧に説明してほしい。

80についても同様の意見であるため、説明が必要だと思う。

- ・3次大綱の評価は市内部で行うとしているが、市民の視点を入れることで「新しい公共」にもつながるのではないか。

(永野課長)

- ・昨年度の審議は時間的な制約があった。しかし、できるだけ委員のみなさんの意見を反映し、良いものを作りたいとの思いから、パブリックコメントを実施する一方で委員のみなさんからも再度意見をいただいた。
- ・会議のスケジュールについては、余裕を持って事前にお知らせし、丁寧な議論ができるような日程としたい。
- ・「助長」や「後押し」などの文言については、再度、整理する。
- ・パブコメの意見に対して、もう少し丁寧な回答をとということだが、推進計画を策定する中で委員の指摘を踏まえて対応していきたい。

(東條委員長)

- ・会議のスケジュールについては、委員長としても十分な議論ができるような運営に努めていきたい。

(木原委員)

- ・大綱からは、どの程度の将来負担があるとか財政状況が厳しいといったことが伝わらない。普通交付税が84億円減るとか新幹線が赤字であるとか、そういったことは将来、市民が負担することになる。「だからこれをやるんだ」という現実の厳しさが伝わらない。
- ・行革の動機づけとして、本当にこれだけでいいのか。

(東條委員長)

- ・地域事業費制度の見直しなどが見えない中では、具体的な数値は出せないのではないか。
- ・課長が言うように今回は特殊要因であり、推進計画で数値が出せる時点で議論していくべきではないか。

(木原委員)

- ・5次総の数値を推進計画の中にどのように入れ込むのか。

(永野課長)

- ・5次総の政策目標の中には、収納率など大綱の取組と同じものもあり、そういったものは変わらない。しかし、政策目標に掲げていないものも推進計画には入る。推進計画の策定の段階で議論いただきたい。

(青木委員)

- ・先ほど、木原委員から「厳しさが伝わらない」という意見があったが、「第4次行革改革の目指す姿」の中で言い切りの形にすることで厳しさを伝えられないか。「する必要ががあります。」では、気持ちが伝わらないと思う。「します。」という断定的な言葉を使うのでもよいのではないか。

(東條委員長)

- ・修正について事務局一任でよいか。

一同異議なし

(木原委員)

- ・「新しい公共」について、これまで行革の評価は庁舎の中で行っていたが、最近広報やホームページにシフトしているような気がする。市が庁外に出ていくだけでなく、庁外から庁舎の中に入ってくるということも「新しい公共」と捉えることはできないか。その具体例として、大綱の進捗管理を市民が行うことはできないか。

(東條委員長)

- ・推進計画を策定する中で、担当課で議論するよう依頼してほしい。

(永野課長)

- ・大綱の進捗管理については、市民のみなさんに広報じょうえつの特集などで情報をしっかり伝えるとともに、市民の代表である議会に報告し、内容の改善や見直しを行うという体制でいきたいと考えている。
- ・全体の「新しい公共」については、推進計画の策定の中で議論を深めていきたい。

(東條委員長)

- ・答申について、事務局に腹案があれば説明してほしい。

(永野課長)

- ・本日の意見を反映した上で、5月25日を目処に委員長から市長に答申していただきたい。

(東條委員長)

- ・日程及び大綱の修正については、私に一任していただけるか。

一同異議なし

## (2) 第4次上越市行政改革推進計画の策定について

(事務局)

- ・星野係長が資料2-1、2-2に基づき説明

(東條委員長)

- ・事務局の説明について意見や質問があれば、発言いただきたい。

(青木委員)

- ・推進計画が大事だと思うので、十分な審議ができるようなスケジュールとしてほしい。

(永野課長)

- ・そのようにさせていただく。

(三浦委員)

- ・個別計画について、6月下旬までに原案となっているが、このスケジュール感で後に不整合は生じないか。また、大綱の個別計画として策定するのか、本来、それぞれの課が持っているべき計画として策定するのか、その位置付けはどのようになっているのか。

- ・「推進計画の概要」のページについて、「取組成果の測定方法を明確する」となっているが、是非そのようにしてほしい。また、目標設定について、「職員自身が分かりやすく」となっているが、市民にも分かりやすい表現としてほしい。

- ・推進計画のイメージでは根拠となる個別計画の記述欄がないが、体系的に示した方が分かりやすい。

(永野課長)

- ・個別計画は内容によっては中身の濃いものもある。行革の取組を含めて策定するものと行革の取組として策定するものがある。各課が独自に作る計画から抜き出してこのシートに入れ込むものと、シートだけのものの2種類あると理解してほしい。
- ・目標は、市民のみなさんにも分かりやすいものとしたい。
- ・個別計画の策定スケジュールは、6月下旬までにこのシートを作ってもらうイメージであり、最終的なものは8月末に策定が完了すると考えている。
- ・推進計画への個別計画の名称の記述については、事業課が個別計画を持っているものは記述できるが、個別計画がないものもあるため、その辺を整理し、記載できるようにしたい。

(木原委員)

- ・広報じょうえつに財政状況が出ていたが、そういうものに行革がどうアプローチしていくのか意識しながら推進計画は作られるのか。
- ・「健全財政の推進」の「効率的で効果的な財政運営」の具体的な取組項目は羅列ではなく、項目別のまとまりにしてはどうか。
- ・また、組織機構改革は定員管理だけでなく、総人件費の削減にも取り組む必要があるのではないか。

(永野課長)

- ・財政状況等との関連は、推進計画の策定の中で担当課との協議の中で検討していきたい。
- ・「効率的で効果的な財政運営」の具体的な取組項目については、見せ方の問題であり、今後の議論の中で整理したい。
- ・総人件費については、十分協議し、検討していきたい。

(木原委員)

- ・総人件費については、策定委員会として必要性を議論する必要があるのではないか。

(東條委員長)

- ・推進計画を策定する中で、議論していきたい。

## 9 問合せ先

総務管理部行政管理課行革推進係 TEL : 025-526-5111 (内線 1436)

E-mail : gyouseikanri@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。